

# 教育

未来を担う子どもたちは、まちの宝です。  
福津市では、0歳時からの子育てを  
地域の力で応援しています。



子どもが好きな木の玩具や手づくりおもちゃ、絵本などをそろえた「ふれあいサロン」。広々とした空間で親子一緒に遊べる

## 子育てをサポート

子どもを生み育てやすい「子どもの国」を目指す福津市では、子育てのための環境づくりに努めています。中でも乳幼児を持つお母さんたちをサポートしているのが、ふくとびあ内の子育て支援センター「なかよし」。親子で遊べる場、子育て仲間との交流の場として、自由に利用できるサロンを開設しています。また、離乳、発育発達、しつけなどの育児に関する相談に応じるとともに、「育児講座」を開催。排せつや睡眠、食事など生活習慣における悩みや知恵を出し合える場となっています。親子の触れ合い遊びや友達と一緒に楽しく遊べる内容を計画し、子育てについて



自宅にいるような安心した雰囲気が人気。思い思いに好きな遊びを見つけて自由に過ごせる

情報交換をしながら、親も子も交流を深めています。さらに子育て支援に関心を持つ市民を対象に「子育てサポーター」の養成講座を開き、修了した受講生はボランティアとして地域などで活動の場を広げています。市内には数か所の子育てサロンがあり、地域の子育てサポーターやボランティアのかたとのつながりができています。ほかにも福津市には、子育てを手伝ってほしい「おねがい会員」と手助けしたい「まかせて会員」からなる「ファミリィ・サポーターセンター・ふくとび」という会員システムがあり、子どもの一時預かりや保育園などへの送迎をサポート。たくさんの方の利用者から喜ばれています。

## ユニークな学校づくり

今日、教育現場ではさまざまな問題を抱えています。また教育に求める役割もますます多様化しています。そこで全国的に注目されているのが「コミュニティ・スクール」という地域に開かれた学校づくりです。学校と家庭、地域の三者がそれぞれの役割を果たしつつ協力し合い、地域にふさわしい信頼される学校を皆でつくろうというもの、具体的には保護者や地域住民の代表、有識者、教職員、行政のメンバーで「学校運営協議会」をつくり、学校運営に反映させます。「夢や希望を持ち、健やかに育つ子ども」を目標とする福津市では、平成23年度までに市内の小中学校すべてでコミュニティ・スクールを立ち上げる予定です。すでに平成19

年9月には、神興東小学校が市内初のコミュニティ・スクールとしてスタート。地域の知恵や力を取り入れた教育活動を積極的に展開し、運動会や文化祭、放課後クラブ、アンビシャス広場、登下校のバトロールなどを通して、校区住民と子どもたちとのきずなを深めています。神興東小校区はもとも地域活動が盛んですが、子どもたちの中にはきちんとあいさつをするようになったり、住民との交流を心待ちにする姿も現れました。子どもたちを中心に、郷づくりとも連携しながら未来の市民を育てたい。それが、福津市の目標です。そして、いつか子どもたちが大人になったとき、生まれ育ったふるさとが好きと言えるように、遠く離れていても誇りに思う心を育てたいと考えています。

地域住民と保護者が一体となった、神興東小学校の学校運営。住民の間には地域で子どもを育む気運が高まり、子どもや大人同士のきずなも深まっている



子どもたちも楽しみにしている、校区住民とのふれあいの場

## 東洋のベスタロッツ 安部 清美

大正9年(1920)年、19歳で神興尋常小学校に赴任した安部清美は、脇山小学校長として転出するまでの12年間、ここで教鞭をとり、一人の子をも粗末にしない、郷土にふさわしい人材を家庭や地域とともに育てる教育を実践しました。その取り組みは神興教育の名のもとに全国に広まり、年間1,000人もの視察者が来村。安部は東洋のベスタロッツと称えられました。